

コア科目シラバス

コア科目

授業科目	異分野融合型先端歯学・歯科医療 (東北大学担当コア科目)
担当者	佐々木 啓一、高橋 信博
授業の目的、概要等 将来の歯学・歯科医療の方向性の一つとして、異分野融合型の歯学およびそれに基づいた歯科医療のあり方について考察し、理解を深める。	
授業の到達目標(SBOs) 異分野融合型の歯学について説明できる。 先端歯科医療について説明できる。 将来の歯学・歯科医療のあり方について、自ら具体的に考察できる。 将来の歯学・歯科医療の変革や改善について、積極的に取り組む姿勢を持つ。	
コマ数・授業題目 1) 先端的歯科医療とは： 佐々木 啓一 2) 異分野融合型歯学とは： 高橋 信博	
対象学年、授業計画・日程、講義場所 大学毎に異なるため、後記の一覧表を参照のこと。	
成績評価の方法や基準 各大学のコースにおいて、出席率やレポート及びアンケートの提出状況により評価を行う。	
教科書・参考書・テキスト等 特に無し	
履修上の注意点等 特に無し	
その他:各大学における連絡事項 【東京医科歯科大学】 【東北大学】 【新潟大学】 【日本歯科大学】 【東京歯科大学】	

コア科目

授業科目	摂食嚥下のメカニズム	(新潟大学担当コア科目)
担当者	井上 誠	
授業の目的、概要等 正常な咀嚼・嚥下運動の遂行を担う生体機能を知る。 種々の疾患が引き金となって生じる摂食嚥下障害に対する臨床への興味につなげる。		
授業の到達目標(SBOs) ・摂食運動に関わる諸器官の構造と機能を説明する。 ・咀嚼と嚥下運動の機能意義を説明する。		
コマ数・授業題目 1) 摂食運動に関わる末梢器官とその働き 2) 摂食運動に関わる中枢神経系の役割 3) 摂食運動に対する口腔機能他の周辺機能の重要性		
対象学年、授業計画・日程、講義場所 大学毎に異なるため、後記の一覧表を参照のこと。		
成績評価の方法や基準 各大学のコースにおいて、出席率やレポート及びアンケートの提出状況により評価を行う。		
教科書・参考書・テキスト等 参考書:基礎歯科生理学 第6版(医歯薬出版)		
履修上の注意点等 単なる暗記にとどまらず、生命現象を科学的視点でとらえることにより、臨床への興味と探求につなげる視点をもってほしい。		
その他:各大学における連絡事項 【東京医科歯科大学】 【東北大学】 【新潟大学】 ・生理学の基本を復習した上で授業に臨むことが好ましい。 【日本歯科大学】 【東京歯科大学】		

コア科目

授業科目	長寿を支える硬組織バイオロジー (東京医科歯科大学担当コア科目)
担当者	中島 友紀、井関 祥子
授業の目的、概要等 硬組織バイオロジーに関する知識を統合整理し、長寿社会における歯科医療の位置付けを確認する。	
授業の到達目標(SBOs) 1) 骨構成細胞(破骨細胞、骨芽細胞、骨細胞)の役割と機能を説明できる。 2) ロコモティブ症候群と治療法を説明できる。 3) 骨発生と遺伝子疾患の分子メカニズムが説明できる。	
コマ数・授業題目 1) 骨構成細胞とその役割 : 中島友紀 2) ロコモティブ症候群と治療 : 中島友紀 3) 硬組織の発生と骨の遺伝子疾患 : 井関祥子	
対象学年、授業計画・日程、講義場所 大学毎に異なるため、後記の一覧表を参照のこと。	
成績評価の方法や基準 各大学のコースにおいて、出席率やレポート及びアンケートの提出状況により評価を行う。	
教科書・参考書・テキスト等 新 骨の科学 (医歯薬出版株式会社)	
履修上の注意点等	
その他:各大学における連絡事項 【東京医科歯科大学】 【東北大学】 【新潟大学】 【日本歯科大学】 【東京歯科大学】	

コア科目

授業科目	テイラード・コミュニケーション概論 (東京歯科大学担当コア科目)
担当者	平田創一郎、保坂 誠、佐藤憂子
授業の目的、概要等 臨床実習の場では、患者の訴えを漏れなく汲み取り、診断と実施すべき診療方法を患者に伝えて理解を得、そして治療に協力をしてもらうとともに、患者に必要な保健行動を実践してもらわねばならない。そこで、診療参加型臨床実習で適切な患者対応を行うために、コミュニケーションに関する知識、技能、態度を修得することを目的とする。	
授業の到達目標(SBOs) 1)医療面接を説明する。 2)コミュニケーション技法・カウンセリング技法を説明する。 3)ラポール形成に必要な態度を説明する。	
コマ数・授業題目 3コマ コミュニケーション学(医療面接)	
対象学年、授業計画・日程、講義場所 大学毎に異なるため、後記の一覧表を参照のこと。	
成績評価の方法や基準 各大学のコースにおいて、出席率やレポート及びアンケートの提出状況により評価を行う。	
教科書・参考書・テキスト等 石井拓男 等 編:スタンダード社会歯科学第5版第1刷、学建書院 POSによる歯科診療録の書き方、日野原重明監修、医歯薬出版株式会社	
履修上の注意点等 歯科医療人に相応しい身だしなみ、患者に好感を持たれる身なり、服装をする	
その他:各大学における連絡事項 【東京医科歯科大学】 【東北大学】 【新潟大学】 【日本歯科大学】 【東京歯科大学】 ・準備学習として、患者や地域社会にとっての「歯科医師の存在意義とは何か」、歯科医師としての自分の将来展望・ビジョンを自分の言葉で説明できるようにしておく。	

コア科目

授業科目	地域連携と摂食支援 (日本歯科大学担当コア科目)
担当者	高橋 賢晃、菊谷 武
授業の目的、概要等 要介護高齢者に対する歯科訪問診療と摂食嚥下支援を行うために必要な知識を習得する。	
授業の到達目標(SBOs) 1)在宅療養患者における特徴を述べる。 2)在宅診療の留意点を記述する。 3)摂食支援の実際を知る。 4)摂食嚥下機能の評価方法を説明する。 5)摂食嚥下機能の精密検査法を述べる。 6)摂食機能療法の計画・立案を説明する。	
コマ数・授業題目 3コマ・地域連携と摂食支援(1)	
対象学年、授業計画・日程、講義場所 大学毎に異なるため、後記の一覧表を参照のこと。	
成績評価の方法や基準 各大学のコースにおいて、出席率やレポート及びアンケートの提出状況により評価を行う。	
教科書・参考書・テキスト等 1. 日本障害者歯科学会 編 スペシャルデンティストリー 障害者歯科 医歯薬出版 2. 向井美恵・山田好秋 編 歯学生のための摂食嚥下リハビリテーション学 医歯薬出版	
履修上の注意点等 オフィスアワーについては、日時・場所について、各担当者が講義において通達する。	
その他・各大学における連絡事項 【東京医科歯科大学】 【東北大学】 【新潟大学】 【日本歯科大学】 ・地域連携ケアコースのユニット5 ・コースのGIOは、医療・介護・福祉の有機的な連携に基づく地域包括ケアシステムを構築でき、高齢者医学、リハビリテーション医学に関する知識や口腔機能に影響を及ぼす様々な疾患に関する知識を深め、要介護者への食生活への支援を通じ、生活支援や人生支援ができるよう、摂食・嚥下障害の概要とリハビリテーションの対応や障害者の行動調整法、障害者歯科治療におけるリスク評価と安全管理を習得する。 【東京歯科大学】	

コア科目 各大学講義日程・場所等一覧

異分野融合型先端歯学・歯科医療（東北大学）

大学名	履修学年	日時	時間	コマ数	場所(各大学内)
東北大	5年	平成27年1月30日(金)	13:30~17:00	2	A棟1階A1講義室
新潟大	5年	平成27年3月3日(火)	17:00~20:00	2	D棟2階第1講義室
東京歯科大	-	-	-	-	-
日本歯科大	2・5年	平成27年3月2日(月)	15:00~18:00	3	100周年記念館5階152講堂
東京医科歯科大	5年	平成27年2月27日(金)	13:30~16:30	3	7号館4階第4講義室

摂食嚥下のメカニズム（新潟大学）

大学名	履修学年	日時	時間	コマ数	場所(各大学内)
東北大	5年	平成27年3月20日(金)	13:30~17:00	2	A棟1階A1講義室
新潟大	5年	平成27年1月27日(火)	17:00~20:00	2	D棟2階第1講義室
東京歯科大	-	-	-	-	-
日本歯科大	2・5年	平成27年3月3日(火)	15:00~18:00	3	100周年記念館5階152講堂
東京医科歯科大	5年	平成27年1月9日(金)	13:30~16:30	3	7号館4階第4講義室

テイラード・コミュニケーション概論（東京歯科大学）

大学名	履修学年	日時	時間	コマ数	場所(各大学内)
東北大	6年	平成27年4月3日(金)	13:30~17:00	2	A棟1階A1講義室
新潟大	5年	平成27年2月24日(火)	17:00~20:00	2	D棟2階第1講義室
東京歯科大	-	-	-	-	-
日本歯科大	2・5年	平成27年3月4日(水)	15:00~18:00	3	100周年記念館5階152講堂
東京医科歯科大	5年	平成27年2月20日(金)	13:30~16:30	3	7号館4階第4講義室

地域連携と摂食支援（日本歯科大学）

大学名	履修学年	日時	時間	コマ数	場所(各大学内)
東北大	6年	平成27年4月10日(金)	13:30~17:00	2	A棟1階A1講義室
新潟大	5年	平成27年4月17日(金)	17:00~20:00	2	D棟2階第1講義室
東京歯科大	-	-	-	-	-
日本歯科大	2・5年	平成27年3月12日(木)	15:00~18:00	3	100周年記念館5階152講堂
東京医科歯科大	5年	平成27年3月20日(金)	13:30~16:30	3	7号館4階第4講義室

長寿を支える硬組織バイオロジー（東京医科歯科大学）

大学名	履修学年	日時	時間	コマ数	場所(各大学内)
東北大	6年	平成27年4月17日(金)	13:30~17:00	2	A棟1階A1講義室
新潟大	5年	平成27年1月13日(火)	17:00~20:00	2	D棟2階第1講義室
東京歯科大	-	-	-	-	-
日本歯科大	2・5年	平成27年3月6日(金)	15:00~18:00	3	100周年記念館5階152講堂
東京医科歯科大	5年	平成26年12月12日(金)	13:30~16:30	3	7号館4階第4講義室

※東京歯科大学については来年度以降実施予定。

各大学科目シラバス

東北大学

授業科目	合同講義		授業担当	五十嵐 薫		
授業細目	異業種連携で進化する口腔ケア・リハビリテーション		責任者	口腔障害科学分野		
曜日一時限	水-3・4	対象年次 学期	5年次 9セメスター	講義室名	A3講義室	
授業の目標 並びに概要	口腔衛生状態の維持向上、ならびに口腔機能の維持回復を目的とする口腔のケア・リハビリテーションにおいて、歯科医療専門職種が医療・介護・福祉など他領域の専門職種と連携を行う必要性を理解する。					
授 業 計 画	回数	授 業 内 容		担当者		
	1	医科歯科連携の展開として、医科診療患者の口腔機能管理の重要性と多職種連携による患者中心の医療を学ぶ。		予防歯科学分野 小関 健由		
	2	要介護高齢者の口腔衛生管理や口腔機能の維持向上に際し、必要とされる他職種連携について概説する。		加齢歯科学分野 服部 佳功		
アドバイス						
テキスト・教材・参考書等						
成績評価の方法	出席、レポート等から総合的に判断する。					

授業科目	合同講義		授業担当	五十嵐 薫		
授業細目	口腔から始まる再生医療		責任者	口腔障害科学分野		
曜日一時限	水-3・4	対象年次 学期	5年次 9セメスター	講義室名	A3講義室	
授業の目標 並びに概要	幹細胞研究やバイオテクノロジーの進展をふまえたこれからの歯科医学に必要な再生医療の基礎知識を学ぶ。					
授 業 計 画	回数	授 業 内 容		担当者		
	1	歯の発生から考えた再生医学		小児発達歯科学分野 福本 敏		
	2	幹細胞を用いた骨の再生医療		分子・再生歯科補綴学分野 江草 宏		
アドバイス	歯科における再生医療の必要性や幹細胞の基本知識について、講義を通じて理解されるよう希望する。					
テキスト・教材・参考書等	ニュートン別冊、再生医療への道を切り開く iPS 細胞					
成績評価の方法	講義についてのレポート提出により評価する。					

授業科目	合同講義		授業担当	五十嵐 薫		
授業細目	口腔が支える食と健康		責任者	口腔障害科学分野		
曜日一時限	水-3・4	対象年次 学期	5年次 9セメスター	講義室名	A3講義室	
授業の目標 並びに概要	歯学・歯科医療は、口腔の感覚・運動・自律機能の維持・回復・増進に関わり、食の喜び、栄養状態の向上を通じ、人々の健康に貢献する。本授業では、口から始まる健康長寿社会の実現に向けて、歯学・食品学・栄養学などの最新の臨床および研究の紹介を通じ、食や健康の入り口となる口腔について考察する。					
授 業 計 画	回数	授 業 内 容		担当者		
	13:00-13:10	本講義の趣旨説明		歯科薬理学分野 若森 実		
	13:10-13:40	5基本味の受容体とその修飾		歯科薬理学分野 若森 実		
	13:40-14:10	味覚障害に対する口腔内科的診断と治療		口腔診断学分野 笹野 高嗣		
	14:10-14:40	口腔保健用機能性食品—その研究・開発の現場からみた未来		口腔生化学分野 高橋 信博		
	14:50-15:20	高齢者の食と健康		加齢歯科学分野 服部 佳功		
	15:20-15:50	日本型食生活の秘密を探る		宮城県立大学食産業学部 西川 正純		
	15:50-16:10	総合討論		全員		
アドバイス	本授業では、これからの歯科医療のブレークスルーとなる即戦力の知識を教授する。積極的な授業態度で臨んでほしい。					
テキスト・教材・参考書等	必要に応じて事前に教材を配布し、参考書等を紹介する。					
成績評価の方法	出席及びレポートにより評価する。					

授業科目	合同講義		授業担当	五十嵐 薫		
授業細目	歯学発の医療機器・技術イノベーション		責任者	口腔障害科学分野		
曜日一時限	水-3・4	対象年次 学期	5年次 9セメスター	講義室名	A3講義室	
授業の目標 並びに概要	歯科医療に応用可能な生体材料、医療機器に求められる諸性質ならびにその臨床応用に向けて必要な研究ならびに承認申請等について理解する。					
授 業 計 画	回数	授 業 内 容		担当分野および担当者		
	1	医歯用生体材料に求められる性質ならびにその応用について		顎口腔機能創建学分野 鈴木 治 歯科生体材料学分野 高田 雄京		
	2	歯科医療機器の開発とその応用について		口腔システム補綴学分野 佐々木 啓一		
アドバイス						
テキスト・教材・参考書等	特になし。					
成績評価の方法	出席、レポート等から総合的に判断する。					

授業科目	合同講義		授業担当	五十嵐 薫		
授業細目	社会と医療を繋ぐ歯科情報倫理		責任者	口腔障害科学分野		
曜日一時限	水-3・4	対象年次 学期	5年次 9セメスター	講義室名	A3講義室	
授業の目標 並びに概要	社会との関わりの中で歯科医療・口腔科学の役割について、地域包括ケアシステムや災害医療における対応を含めて理解し、説明出来るようにする。					
授 業 計 画	回数	授 業 内 容		担当分野および担当者		
	1	地域包括ケアシステムにおける介護医療連携の中で、歯科がどのような役割を担うべきか概略を学ぶ。		国際歯科保健学分野 小坂 健		
	2	大規模災害対応における歯科の役割について、身元確認を教材にデータベースの構築やICTを用いたデータマネジメントについて学ぶ。		歯科法医情報学分野 鈴木 敏彦		
アドバイス						
テキスト・教材・参考書等	歯科における災害対策 中久木康一編著 砂書房					
成績評価の方法	出席、レポート等から総合的に判断する。					

東京医科歯科大学

時間割番号	021177																
科目名	アドバンスド病態科学																
担当教員	大渡凡人																
開講時期	後期	対象年次	5														
<p>モジュール名:長寿口腔健康科学コース コマ数:3 授業形態:講義 TBI ユニット番号:</p>																	
<p>授業の目的、概要等</p> <p>超高齢社会を迎え、わが国の医療はさまざまな問題に直面している。チーム医療(多職種連携)は、この複雑な問題解決のための有用な方策であり、医療の質的向上とサービスの効率的提供を目的としている。我々歯科医療従事者が多職種連携を主導する key player のひとりになるためには、(歯科以外の)医師を始めとする医療従事者と共通の臨床医学的知識を基盤として、(歯科医療の)専門家としての議論が可能でなければならない。</p> <p>本授業では、多彩な全身疾患を合併する患者のシナリオを、TBL に準拠した形式で議論することにより、病態の理解、ならびに臨床検査データの理解と評価を可能にし、有病高齢者の観血的処置における合理的なリスク管理方法を立案できるようにするのが目的である。なかでも、今後の歯科臨床あるいは医学融合教育を行う上で必須の臨床検査データの理解に重点を置く。</p>																	
<p>授業の到達目標(SBOs)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 歯科医療における(歯科領域以外の)臨床医学的知識の必要性を説明できる。 2) 臨床的重要性が高い全身疾患の病態について説明できる。 3) 臨床検査データの意味を理解し、その結果から各全身疾患の個体レベルでの評価ができる。 4) 有病高齢者の安全な観血的歯科治療を行うためのリスク管理について正確な医学的知識を背景に立案できる。 																	
<p>授業計画</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> <th>授業題目</th> <th>担当教員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>3/13</td> <td>13:30-16:30</td> <td>歯学科第4講義室</td> <td>講義・TBL等</td> <td>大渡凡人</td> </tr> </tbody> </table>						回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員	1	3/13	13:30-16:30	歯学科第4講義室	講義・TBL等	大渡凡人
回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員												
1	3/13	13:30-16:30	歯学科第4講義室	講義・TBL等	大渡凡人												
<p>成績評価の方法</p> <p>コース全体の出席率やレポート及びアンケートの提出状況により評価を行う</p>																	
<p>準備学習などについての具体的な指示</p> <p>シナリオ等を事前に予習し(WebClass)、全身疾患の病態の理解と臨床検査データに関して自己学習を行う。 特に臨床検査データについては、ひとつお理解しておくことを勧める。</p>																	
<p>参考書</p> <p>「異常値の出るメカニズム」 河合 忠、屋形 稔、伊藤喜久、山田俊幸、編、医学書院、2013 「全身の偶発症とリスクマネジメント 高齢者歯科診療のストラテジー」.大渡凡人. 医歯薬出版; 2012.</p>																	

時間割番号	021178				
科目名	健康長寿の医療政策学・経済学				
担当教員	川渕 孝一				
開講時期	後期	対象年次	5		
モジュール名:長寿口腔健康科学コース コマ数:3コマ 授業形態:講義 ユニット番号:					
授業の目的、概要等 口腔健康科学は統合科学であり、その社会的応用として歯科医療が位置づけられる。しかし、その歯科医療の基礎となる背景に医療政策・制度・経済がある。そこで本授業では歯科医学・医療と制度の橋渡しを目指して、医療政策・経済について、その基礎を理解することを目的とする。具体的には「後期高齢者医療に関する医療費分析」「介護予防効果と持続性」「地域包括ケアは“範囲の経済”を追求すべきか否か」など、今日的なテーマを医療政策・経済学の視点から学習する。					
授業の到達目標(SBOs) 1) 超高齢社会の問題点を概説できる。 2) 平均寿命と健康寿命との差が拡大していることを説明できる。 3) 国家財政の圧迫と国力の低下について概説できる。 4) 医療費や介護給付費等の社会保障負担の増大を説明できる。 5) 長寿社会における解決策を政策提言できる。					
授業計画					
回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員
1～3	2/6	13:30-16:30	歯学科第4講義室		川渕 孝一
成績評価の方法 コース全体の出席率やレポート及びアンケートの提出状況により評価を行う					
準備学習などについての具体的な指示 2014年5月7日に衆議院厚生労働委員会の参考人招致における陳述を事前に学習して、健康長寿社会に向けて、先の第186通常国会で成立した、いわゆる医療・介護一括法案の持つ意義を考える。さらに、医療のみならず介護・福祉分野も含めて社会保障の意義及び政策についても事前に学習しておくことが望まれる。特に社会保障体制における社会保険方法と税方式、社会保障と国民経済、医療保険制度・介護保険制度・公費負担医療制度、社会福祉制度の基本的な枠組みと改革の課題について予習して欲しい。					
参考書 川渕孝一著「“見える化”医療経済学入門」(医歯薬出版株式会社)2014年6月 川渕孝一著「第六次医療法改正のポイントと対応戦略60」(日本医療企画)2014年6月					

時間割番号	021182				
科目名	在宅における摂食嚥下評価				
担当教員	戸原玄, 中根綾子, 若杉葉子				
開講時期	後期	対象年次	5		
モジュール名:長寿口腔健康科学コース コマ数:6 授業形態:講義、ロールプレイ、グループワーク ユニット番号:					
授業の目的、概要等 摂食嚥下障害の診察や評価、対応、更には在宅訪問診療のあり方を考えることを目的とする。					
授業の到達目標(SBOs) 摂食嚥下障害のアセスメントを覚える 摂食嚥下障害のスクリーニングテストができる 摂食嚥下障害患者への対応を考えることができる					
授業計画					
回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員
1～3	2/13	13:30-16:30	歯学科第4講義室	摂食嚥下障害のアセスメント	戸原玄
4, 5	3/6	13:30-15:30	歯学科第4講義室	摂食嚥下障害のスクリーニングのロールプレイ	戸原玄 中根綾子 若杉葉子
6	3/6	15:40-16:30	歯学科第4講義室	摂食嚥下障害の症例検討	戸原玄 中根綾子 若杉葉子
成績評価の方法 コース全体の出席率やレポート及びアンケートの提出状況により評価を行う					
準備学習などについての具体的な指示 下記の参考書などを事前に読んでおくことが望ましい					
参考書					
1. 訪問で行う摂食・嚥下障害のチームアプローチ, 戸原玄編著, 全日本病院出版会, 東京, 2007					
2. 訪問歯科診療ではじめる摂食・嚥下障害のアプローチ, 植松宏監修, 医歯薬出版, 2007					
3. シニア世代のお口を守り健康長寿に導くプロをめざそう, DH Style 増刊号, 戸原玄, ダイヤモンド社, 2014					

時間割番号	021183				
科目名	地域包括ケアシステム論				
担当教員	飯島 勝矢				
開講時期	後期	対象年次	5		
モジュール名:長寿口腔健康科学コース コマ数:3 授業形態:講義 ユニット番号:					
授業の目的、概要等					
<p>未曾有の超高齢化を目の前にして、今後わが国は後期高齢者が激増する。同時に認知症患者や独居高齢者、老夫婦のみの世帯も激増すると推測される中、我が国の医療政策がまさに今問い直されている。すなわち、幅広い視点から医療・介護提供体制を大きく進化させていく時期に来ている。</p> <p>高齢者の健康寿命を延ばすため、自助・共助・互助の精神の下、健康増進を普段から心掛け、経済活動・地域活動への参加を促すことによって高齢者自身も社会の支え手とする社会システムが求められる。さらに、たとえ自立度レベルが低下し要介助になった後でも、心を委ねられた医療人が横に寄り添う姿が必要であり、同時に医療介護の円滑なシステムと療養生活環境システムの両面サポートが存在することにより、はじめて「Aging in Place/ Aging in Community(できる限り元気で、住み慣れた街で弱っても安心して暮らす)」が達成される。よって、今後の医療制度改革は医療関係者の「意識改革」そのものと言っても過言ではない。今後、全国の様々な地域において目に見えるこれらの活動が実際に生まれ、そしてその地域に根付き、最終的には次の世代へ引き継がれることになって初めて意味のあるものになる。そのために、真の『地域包括ケアシステム』とは何かを理解する必要がある。それを達成するために、それまでの背景、その意義、今後の動向などを十分踏まえた上で、改めて若い歯科医療専門職として何を見据え、何をすべきかを熟慮し、視野の広い歯科医療人を目指して欲しい。</p>					
授業の到達目標(SB0s)					
<ul style="list-style-type: none"> ➤ 我が国の高齢者医療を取り巻く背景と、国の推し進める『地域包括ケアシステム』を理解する ➤ 従来の「治す医療」から『治し支える医療』という原点の理解: その象徴的存在である在宅医療の意義と歯科の関わりを理解する ➤ 「病人である前に『生活者』なのである」という理念の下に、住み慣れた街全体で生から死までを地域全体で支え、みて(診て・見て)いくという地域完結型の医療への進化を理解する ➤ 新たな大学-地域間連携を構築しながら、地域医療にも視野を広げられる若手医療人の養成・早期医学教育にも触れる ➤ より早期からの虚弱予防戦略を早期の段階から学ぶ:特に『オーラル・フレイル(口腔機能の虚弱化)』から再考する 					
授業計画					
回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員
1	1/16	13:00-13:50	歯学科第4講義室	超高齢社会を見据えた医療未来予想図:~今、我々の出来ること~	飯島 勝矢
2	1/16	14:00-14:50	歯学科第4講義室	みんなで創り上げる『地域包括ケアシステム』:~在宅で過ごし続けることの意義~	飯島 勝矢
3	1/16	15:00-15:50	歯学科第4講義室	より早期からの包括的虚弱予防戦略:~『オーラル・フレイル』から再考する~	飯島 勝矢
成績評価の方法					
コース全体の出席率やレポート及びアンケートの提出状況により評価を行う					
準備学習などについての具体的な指示					
参考書					
「地域包括ケアのすすめ 在宅医療推進のための多職種連携の試み」 東京大学高齢社会総合研究機構 編 http://www.utp.or.jp/bd/978-4-13-060410-9.html					

日本歯科大学

平成26年度授業計画(シラバス)

科目名

地域連携ケアコース

科目の英語表記

Community Health Care Course

学年 学期 曜日

2・5 後

時間

15:00～18:00

本学期的学習目標(GIO)

医療・介護・福祉の有機的な連携に基づく地域包括ケアシステムを構築でき、高齢者医学、リハビリテーション医学に関する知識や口腔機能に影響を及ぼす様々な疾患に関する知識を深め、要介護者への食生活への支援を通じ、生活支援や人生支援ができるよう、摂食・嚥下障害の概要とリハビリテーションの対応や障害者の行動調整法、障害者歯科治療におけるリスク評価と安全管理を習得する。

教科書・参考書

著者・編者

書名

版

出版社

日本障害者歯科学会 編	スペシャルデンティストリー 障害者歯科	第1版	医歯薬出版
向井美恵・山田好秋 編	歯学生のための摂食嚥下リハビリテーション学	第1版	医歯薬出版

担当者一覧

羽村 章、田村文誉、菊谷 武、須田牧夫、高橋賢晃、児玉実穂、町田麗子、有友たかね

成績評価

小テスト、出欠状況および受講態度を評価対象とする。

オフィスアワー

日時・場所について、各担当者が講義において通達する。

授業日	担当者	ユニット番号:名 / 学習目標 (GIO)	行動目標 (SBOs)
3月 5日	有友たかね 羽村 章	ユニット1:多職種協働に必要なコミュニケーション GIO:地域歯科保健で各職種と連携を取るために保健、医療、福祉、介護の各職種の役割、連携の必要性を習得する。	1)高齢者に対する保健、医療の制度について述べる。 2)福祉、介護における各職種の役割を述べる。 3)地域歯科保健での各職種の連携の必要性を説明する。 4)情報共有の在り方を習得する。
3月 9日	須田牧夫 児玉実穂	ユニット4:栄養の評価と指導 GIO:高齢者の栄養状態を知り、その管理方法を理解するために必要な知識を習得する。	1)高齢者の栄養状態を述べる。 2)咀嚼機能・嚥下障害・栄養状態の関連を述べる。 3)高齢者の栄養管理の方法を述べる。
3月 10日	田村文誉 町田麗子	ユニット2:摂食機能の発達と障害 GIO:障害児・者の摂食嚥下障害を評価するために、発達期における摂食嚥下障害とは何かを知り、中途障害や機能減退との違いを理解する。	1)摂食嚥下に関する解剖学的・生理学的基礎知識について、小児と成人の違いを比較する。 2)摂食嚥下機能の発達について述べる。 3)摂食嚥下機能の原因について分類する。 4)摂食嚥下機能の疾患別特徴と症状について説明する。

3月	12日	高橋賢晃 菊谷 武	ユニット5:地域連携と摂食支援(1) GIO:要介護高齢者に対する歯科訪問診療と摂食嚥下支援を行うために必要な知識を習得する。	1)在宅療養患者における特徴を述べる。 2)在宅診療の留意点を記述する。 3)摂食支援の実際を知る。 4)摂食嚥下機能の評価方法を説明する。 5)摂食嚥下機能の精密検査法を述べる。 6)摂食機能療法の計画・立案を説明する。
3月	13日	羽村 章 有友たかね	ユニット3:老年症候群に対する歯科の関わり GIO:加齢に伴う疾患を知り、これらの患者に対する歯科診療、口腔ケア、口腔機能の管理を行うために必要な知識を習得する。	1)老年症候群の特徴を述べる。 2)老年症候群を有する高齢者の口腔機能の管理方法を述べる。 3)要介護高齢者に対する口腔ケアの全身に及ぼす影響を述べる。 4)要介護高齢者、口腔ケアの実際の方法を述べる。
3月	20日	菊谷 武 高橋賢晃	ユニット6:地域連携と摂食支援(2) GIO:要介護高齢者に対する歯科訪問診療と摂食嚥下支援を行うために必要な知識を習得する。	1)在宅療養患者における特徴を述べる。 2)在宅診療の留意点を記述する。 3)摂食支援の実際を知る。 4)摂食嚥下機能の評価方法を説明する。 5)摂食嚥下機能の精密検査法を述べる。 6)摂食機能療法の計画・立案を説明する。